

|      |               |
|------|---------------|
| 研究区分 | 教員特別研究推進 地域振興 |
|------|---------------|

|       |                |       |           |    |       |
|-------|----------------|-------|-----------|----|-------|
| 研究テーマ | 地域名士の企業家に関する研究 |       |           |    |       |
| 研究組織  | 代表者            | 所属・職名 | 経営情報学部・教授 | 氏名 | 落合 康裕 |
|       | 研究分担者          | 所属・職名 |           | 氏名 |       |
|       |                | 所属・職名 |           | 氏名 |       |
|       |                | 所属・職名 |           | 氏名 |       |
|       | 発表者            | 所属・職名 | 経営情報学部・教授 | 氏名 | 落合 康裕 |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 講演題目            | 地域名士の企業家に関する研究   |
| 研究の目的、成果及び今後の展望 | <p>地域経済の活性化は、本格的に人口減少社会に突入した日本の喫緊の課題である。本研究は、先行研究を踏まえ、地域創生の担い手として「地域名士の企業家（＊）」を定義する。そして、企業家の生成過程や具体的な役割を歴史資料やインタビュー調査を行い、事例研究によって明らかにする。</p> <p>（＊）数世代にわたり地域密着型経営を展開すると共に、地域創生において主導的役割を担い、地域の利益と自社の利益を同時追求する企業家もしくは企業家一族。</p> <p>従来、著者は老舗型ファミリービジネスの事業承継について追跡的な事例研究を行ってきた。その事例企業の一つに大和川酒造店（喜多方市）がある。同社は、約200年以上もの間、地域に根ざした酒造りをおこなってきたが、昨今、九代目当主は地元の廃業事業者の事業資産を買受けて事業の活性化に取り組んでいる。また、蔵の街・喜多方の地域資産である伝統的な蔵の保存においても、現当主が地域の民間事業者の力を結集して行政に働きかけるなどの地域で主導的な役割を担っている。現九代目の佐藤彌右衛門氏は、東日本大震災を契機に地域のエネルギーの地産地消を目的に会津電力株式会社の設立に貢献するとともに、地元の魅力向上のため喜多方ワイナリーの開業など地域創生の一翼を担っている。著者の調査では、大和川酒造店だけにとどまらず日本の他の地域にも「地域名士の企業家」が存在することがわかってきた（静岡県の場合、鈴与グループなどが該当）。本研究では、日本の各地域に存在する「地域名士の企業家」を抽出し、現地での聞き取り調査（当該企業の経営者や関係者含む）や史料調査を行うことにより、その実態（歴史的背景、地域とのつながりなど）を明らかにし、将来の日本の地域創生の手がかりをえることを目的とする。</p> <p>本研究成果の一部は、令和5年12月10日開催の日中共同研究ミニシンポジウム（事業承継学会共催）において、論題「長寿企業の世代を超えた地域密着性：鈴与の事例研究」として報告を行った。概要は、事業承継学会ジャーナルVol. 13（2024年夏発刊予定）に報告要旨として収録予定である。USフォーラムでは、日中共同研究ミニシンポジウム後の史料調査を交えた内容について報告する。今後、本研究は追加調査分析と内外学会での報告を行い、最終的な研究成果を学術論文として正式に公表する予定である。</p> |